令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年８月 21 日

１．団名

衆議院ドイツ及び英国における政治資金制度等実情調査議員団

２．目的

ドイツ及び英国における政治資金制度等の実情調査のため

３．派遣議員団

団長	政治改革に関する特別委員会	委員長	石田　真敏（自民）
	政治改革に関する特別委員会	理　事	鳩山　二郎（自民）
	同	理　事	平口　　洋（自民）
	同	理　事	落合　貴之（立憲）
	同	委　員	福島　伸享（有志）

同行　衆議院第二特別調査室次席調査員　　山岸　雅広

４．派遣期間

令和６年７月 28 日（日）から８月３日（土）までの７日間

５．派遣国

ドイツ、英国

６．主な調査内容

（１）ドイツ

①　政治資金規制に関する議会に設置された監督機関の運用状況や政党助成等の実情を調査するため、ドイツ連邦議会事務局を訪問し、ノヴァク党資金担当課長から説明を受け、質疑応答を行った。

②　ドイツにおける政党の政治活動や政治資金規制等の根拠となる政党法と、同法に基づく国庫補助金制度、政治資金規制制度の実施状況等

について、ドイツ連邦内務・故郷省を訪問し、ニーラジク憲法・行政法総局長などから説明を受け、質疑応答を行った。

③　政党における収支の実態や政治資金規制の政党運営上の影響等の実情を調査するため、ドイツ社会民主党（ＳＰＤ）を訪問し、ロドリグエス＝ダ＝コスタ財務責任者事務所長などから説明を受け、質疑応答を行うとともに、ドイツキリスト教民主同盟（ＣＤＵ）を訪問し、カブリッツ＝キューン連邦事務局財務責任者事務所長などから説明を受け、質疑応答を行った。

④　ドイツにおける政治資金や政治活動の実情等について、コース・ロイファナ大学政治学研究所教授と意見交換を行った。

（２）英国

①　政治資金規制に関する独立した監督機関の運用状況や政党助成等の実情を調査するため、選挙委員会を訪問し、フランクス・コンプライアンス・透明化担当マネージャーなどから説明を受け、質疑応答を行った。また、政治資金に関して建議する機能等を有している独立した機関の運用状況等を調査するため、公務倫理基準委員会を訪問し、ピール委員から説明を受け、質疑応答を行った。

②　英国における下院議員の政治資金や政治活動の実情等について、クラーク元保守党下院議員及びローガン元労働党下院議員と意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。